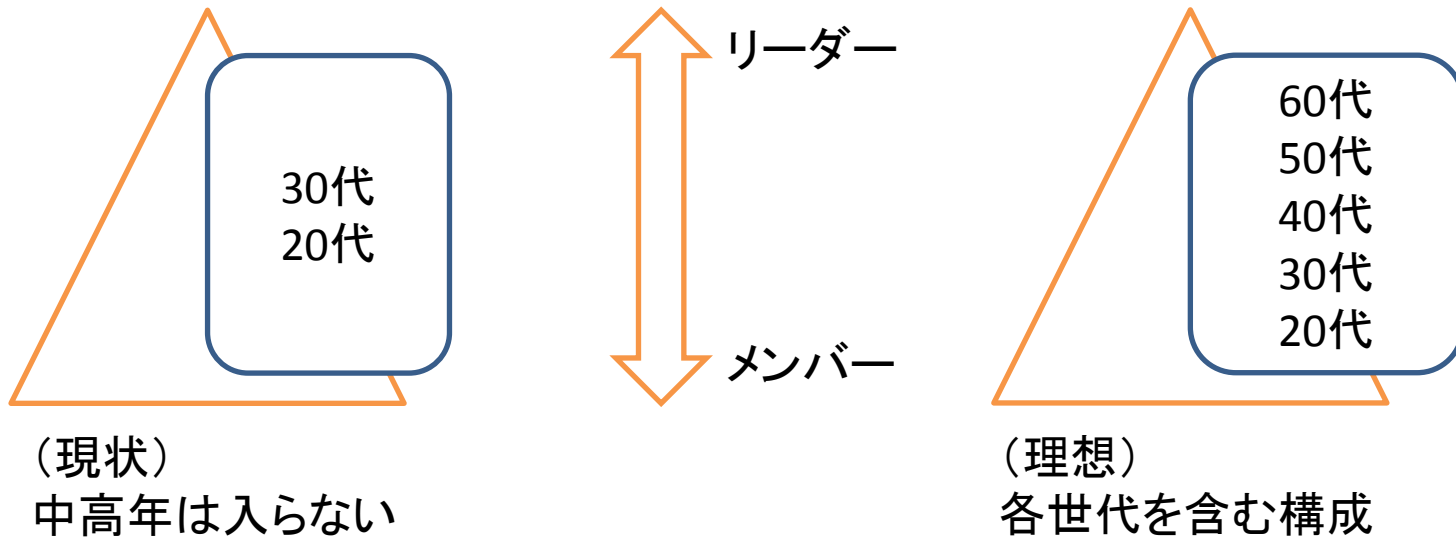


中高年 IT技術者向け パワーアップ・プログラム

2012年1月5日版
ネクストデザイン株式会社

最近の開発チームの世代構成



使用する技術が新しいほど中高年は入らない傾向がある

プログラムの目標

使用する技術が新しくなっていく中で、

- 開発チームの中で中高年が活躍できること
- 中高年が経験を活かして現場力をアップできること
- 技術者としてのキャリアパスが見つけられること

中高年の課題

- 新しい技術の出現スピードに遅れることがある
- オブジェクト指向などへのパラダイムシフトがうまくいっていない

そのため、

- 古いスタイルのプロジェクト管理しかイメージできない
- 昔と同じ作り方(開発手法)になってしまう

このままチームに入ると、

- 周りに(昔の手法を強制するなどの)悪影響を与えてしまう
- 反発を受けてしまう

まずパラダイムシフトをはじめる

新しい技術を自分の手で経験する

- プロジェクト管理法
- 分析・設計技法
- 実装技術

経験を活かす

- オブジェクト指向モデリング

要件定義などの経験の豊富さが強みになる。

- ヒアリング

過去の成功経験・失敗経験をもとに、効率のよいヒアリングができる。

- 開発の進め方

Hello World & Go 的な危ない進め方をより良い方向に導ける。

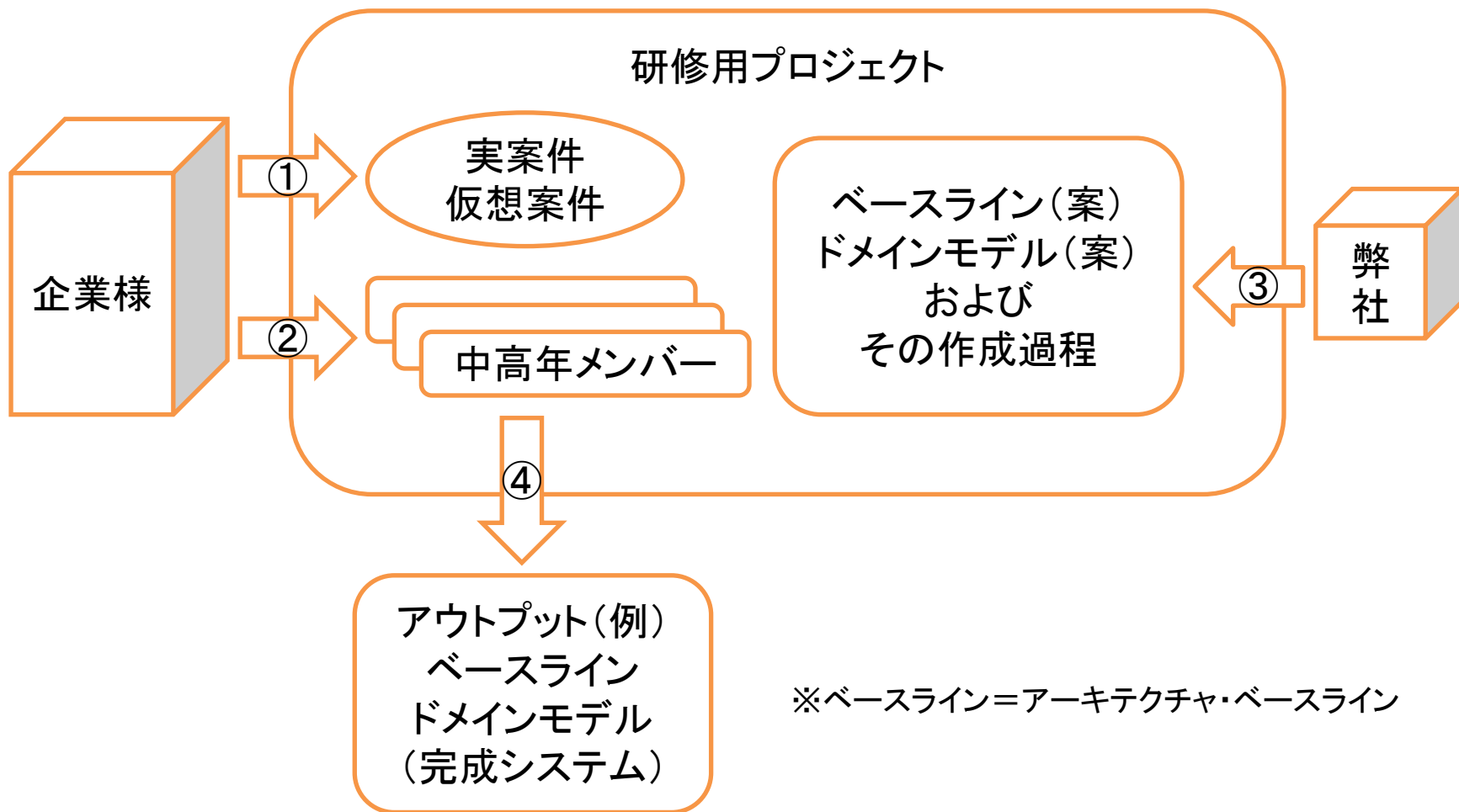
現状、オブジェクト指向技術は正しく普及しているとは言えず、

Hello World & Go 的な作り方が蔓延している。

このような状況は失敗プロジェクトの原因にもなる。

これらを軌道修正し、現場力を高める役割は、中高年に期待される。

パワーアップ・プログラムの概要



進め方

- 期間は2週間以上が望ましい
- 参加者は受講生ではなく、開発メンバーであること
- チーム内はフラットな体制で、全員が分析・設計・実装を行う

以上、ご提案します